



総合計画策定
ものがたり会議



総合計画策定シンポジウム

平成26年6月22日、勝山文化センターで総合計画策定シンポジウムを開催。有識者を招き、真庭ライフスタイルの実現など、市が目指すべき将来像についてディスカッションを行いました。約630人が参加し、耳を傾けました。



市民意見の収集・原案作成

行政

諮問



総合計画
審議会

—第2次真庭市総合計画策定—

25年後への道しるべ

まちづくりの基本的な考え方をまとめ
計画的に進めるための「道しるべ」になる総合計画。
人口・財政規模が縮小していくといった将来を直視し
厳しい社会情勢に対応していくため
真庭市では第2次計画の始期を1年早め
今年度、市民の皆さんと計画策定に取り組みました。
平成27年度からスタートする「第2次真庭市総合計画」
その概略について紹介します。





「自分のまちを変えたい」「全国に誇れる真庭にしたい」といった思いを持った意欲あるメンバーが60人以上集まり、ワークショップ形式で議論をしました。会議は7回の市民会議と1回の高校生会議の合計8回開催。その回ごとにテーマを絞って意見を出し合い、全ての思いを『山中八策』と名付けた提言書にまとめました。幕末に坂本龍馬が京都に向かう船の中で思いを描いた『船中八策』にならったもの。山間のまちで市民が8回集まり、その思いを未来に咲かせたいと願って付けられました。



議決

平成27年1月第1回
真庭市議会臨時会

提言

パブリック
コメント

市民
アンケート

平成26年7月～8月にかけてアンケートを実施。真庭市に住み続ける理由や今後のまちづくりに期待することなどについて、約1,000人からご意見をいただきました。

市議会へ上程

答申



総合計画審議会では、7回にわたって計画内容について審議。平成26年12月19日、大月隆行会長と大石清子副会長が、太田市長に意見書を添えて答申しました。



総合政策部総合政策課
石田明義 主幹

総合計画策定の経過について、計画策定を担当する総合政策課の石田明義主幹に聞きました。

策定に当たっては、いかに多くの意見を盛り込むかというところが焦点になりました。市政懇談会や各地で開く地域の市長室、アンケートなどで多くの意見をいただきましたが、今回新たな手法として取り入れたのが「ものがたり会議」です。誰もが気軽に将来を語る事ができるように開いたのですが、結果として

熱気溢れる議論の場となりました。老若男女問わず参加いただいたのですが、とりわけ、高校生の参加が自由で活発なムードを生んだのではと考えています。

また、機運を高めるために開いたシンポジウムにも、630人という大勢の参加をいただきました。専門家のディスカッションには、私たちも刺激を受けました。こうして地域の声に加えながら原案を作成。その中身を、総合計画審議会ですべて審議していただきました。そして、今年1月に市議会の承認をいただき、第2次真庭市総合計画が完成しました。

総合計画のスタートは4月から。真庭市では、地方創生をキーワードとする国の方針にいち早く対応し、市の総合戦略をまとめます。これが具体的に実施していく中身になる訳ですが、ここでも皆さんの参加をいただきたいながら、良いものを作っていきたいと思っております。これからもご協力をお願いします。

高校生の真剣な姿に感動
自分や子どもの将来のために
これからもみんなと一緒に
考えていきたいです



池本 顕子さん・浩二さん
莉奈子ちゃん(西原)

どんな会議なんだろう、子ども連れでも大丈夫かな、と不安に思いながら家族で参加しました。ですが、最初の会議が終わったときには「次も参加したい」と思いました。意見が言いやすくて、小さい子どもがいても構わないといったような雰囲気良かったですね。いろんな人がいましたが、特に高校生が多かったことにはびっくりしました。まちの将来を真剣に考え、自らリードしてワークショップを進める姿には感心しました。こんな高校生がいるなら真庭の未来は明るいぞ、と感じ刺激をもらいました。そんな彼らに引く張られる形で、

私たちもいろんな意見や思いを発言できました。

自分の将来はもちろん、子どもが大きくなつたときに真庭市がどうなっているのか心配です。人もお金も減つていくという現実を知った以上、だまつて見ている訳にはいきません。ものがたり会議は、それを考えるきっかけにもなりました。自分が良かったと思うだけに、もっと大勢の人に参加してほしいと思いましたが、一人の力では地域は変われませんから。どんな形であれ同じような機会があれば、また参加したいですし、みんなに参加してもらつて一緒に考えていきたいですね。

総合計画の策定で大きな役割を果たした「ものがたり会議」その会議に参加したメンバーの皆さんから、参加した感想やこれからの思いなどについてお話を伺いました。皆さんも、真庭市の将来を思い描いてみてください。



一人の市民として
イーブンに発言できる会議でした
こんな場所が増えれば
地域はもっと良くなるはず



新田 宙司さん(蒜山上長田)

参加した感想はひと言「面白かった」です。真庭青年会議所に所属していた頃には、まちづくりに関わっていましたが、市が主催する会議というのは今回が初めてでした。市のワークショップに参加した後輩が「楽しかったですよ」と感想を聞かせてくれたことがあって、ちようどものがたり会議の募集をしていたので、それならと思いい応募してみました。高校生からお年寄りまで幅広い年代の人がいて、私自身、他の地域の人と話す機会もあまりなかったので、刺激を受けました。地域や団体の代表としてではなく、「二人の市民」としてイー

ブンな議論ができる空気がとても良かったですね。おかげで私もいろんな発言ができました。でも、市民全体からすれば、参加した人はごく一部でしょう。20代、30代の人がもう少しいればと感じる面もありました。普段地域で話をしている「ああすれば」「こうすれば」といようなアイデアが出てきます。でもなかなか気軽に言い出せる機会がありません。ものがたり会議はそれが言える場所でした。こういった場所が増えれば、ネットワークが生まれていろんなことが見えてくるはず。そうなると思いますね。

25年先、みんなで思い描いた 真庭市になっていければ

高校の先生から「行ってみないか」と勧められて、ものがたり会議に参加しました。真庭高校落合校地からは、私たち以外にも大勢参加しました。ワークショップというス

タイトルは高校でも経験していたので、それほど抵抗なく発言することができました。学校の総合学習の取り組みで住民の皆さんと接する機会はありませんでしたが、同じ参加者という立場で大人の人たちと触れ合うのはとても新鮮でした。地域の人が誇りに思っている

ことや、逆に困っていることなど、今まで私たちが知らなかった真庭についてたくさん教えていただきました。やっぱり大人の人たちってすごいな、と感じました。

会議には活気があって、自分が出した意見に回りの人のアイデアが加わって、膨らんだり深まったりしていくのはとても面白かったです。ものがたり会議では、将来のことをイメージしてみんなでいろんなことを話し合いました。今は子どもが少なくなっていることや高齢化が問題になっています。でも、25年先になってみると、子どもが増えていたり、お年寄りの人が暮らしやすい環境になっていたり、ものがたり会議でみんなと一緒に思い描いた真庭市になっているんじゃないでしょうか。高校を卒業すれば、私たちはいったん真庭市を離れますが、戻ってきたらまちづくりにまた参加したいです。今回の経験を通じて、そう思えるようになりたいです。



山名佑樹さん

もともと林業やバイオマスに興味があって、ものがたり会議に参加して、よりその思いを強くしました。将来は真庭でその関係の仕事に就きたいです。

市和真さん

ものがたり会議がきっかけで市役所の仕事に興味が湧きました。まちづくりのコーディネートができる人材になれるよう努力して、真庭で活躍したいです。

竹田翔真さん

進学で真庭を離れますが、せつかなので他のまちについても勉強したいです。いずれ真庭に戻ってきたときには、経験を生かして地域に貢献したいです。

山中彩花さん

大学でも今やっている宮坂流の踊りを続けたいです。真庭に戻ってきたら得意の踊りでおまつりを盛り上げて、真庭の文化をもっとよくなっていきたいです。



総論

多彩な真庭の豊かな生活「真庭ライフスタイル」の提案

第2次真庭市総合計画では、25年後の真庭市の姿とその目標に向けた私たちの役割を描いています。総合計画を将来に責任を持ったものとするため、科学的な分析と予測が可能な「25年先」を目標としました。25年先となる2040年のあるべき姿を描き、そこに続く道しるべとなるのがこの総合計画です。

■真庭の多彩性を認め、誇りに思う

市民一人ひとりが主役であり、その生活が一番大事であるという考え方です。自然や文化といった地域資源はもちろん、その中で普通に生活する私たちの「生き方」「考え方」「暮らし方」を誇りに思うことが大切です。

■真庭ライフスタイルを発信し、共感とさらなる価値向上を

私たちの生活を「真庭ライフスタイル」として自信を持って発信します。このことにより共感が生まれ、交流や移住、定住を通じて新たな真庭の価値（外から見た価値など）を発見します。この好循環が、真庭ライフスタイルを進化させ、真庭の持続可能性が高まります。

この考え方に基づいて下記を定めたものが今回の真庭市総合計画になります

- ▶ **「基本目標」** …25年後の「ひと」「まち」「市役所」のあるべき姿を示す
- ▶ **「基本構想」** …10年間で進めるべき各政策分野の方向性を示す
- ▶ **「基本計画」** …10年間の各政策分野の目標と実現のための推進方針を示す

人口フレームと財政フレームの設定

将来の真庭市の姿を定量的に示すため、「人口」「財政」の規模を次のとおり明示しています。

| | 人口総数 | 年少人口 (0～14歳) | 生産年齢人口 (15～64歳) | 高齢人口 (65歳～) | 出産年齢 女性人口 (15～49歳) | 財政規模 (一般会計) |
|-------|---------|-----------------|--------------------|------------------|--------------------------|----------------|
| 2020年 | 43,800人 | 5,300人 12.1% | 21,400人 48.9% | 17,100人 39.0% | 6,600人 15.1% | 260億円程度 |
| 2025年 | 41,200人 | 5,000人 12.1% | 19,700人 47.8% | 16,500人 40.0% | 6,000人 14.6% | 250億円程度 |
| 2040年 | 34,000人 | 4,100人 12.1% | 16,500人 48.5% | 13,400人 39.4% | 5,000人 14.7% | 210億円程度 |

多彩で循環性のある 持続可能なまち

- 多彩な地域の個性を育てる
- 地域資源を生かした「回る経済」を確立する

生活しやすく 品格のある都市

- 生活の安全安心を高める
- 生活の中で文化を楽しむ
- 人が暮らす風景と快適な住環境をつくる
- 中心市街地とネットワーク型都市を形成する

「ひと」と「まち」の将来に 責任を持つ市役所

- 「ひと」と「市役所」の新しい関係を築く
- 効率的に「市役所」を経営する



基本目標

目指すべき25年後のまちの姿

25年後の豊かな生活「真庭ライフスタイル」実現のため、「ひと」「まち」「市役所」のあるべき姿を示します。

ひと

私たちが創り未来につなげる

まちの主人公として、権利を行使し義務を果たす人や市民団体、NPO、企業などが育っている。真庭のことをよく知り、互いに認め合い「まち」を未来につなげる意思を持った「ひと」である。

まち

多彩性と循環性のあるまち

「モノ・カネ」が循環し、安全安心な生活ができる「まち」がある。自然とマッチし、成熟社会にふさわしい形で経済産業、社会福祉、教育、文化・スポーツなどの仕組みと都市機能が備わっている。

市役所

市民と新しい価値をつくる

課題解決と新しい価値の創造とのバランスを見直し、安全安心で多彩な「まち」づくりを「ひと」と一緒に考え、実践することができる「新しい関係」をつくる。

基本構想

10年間で達成しておきたいこと

本目標に向けてまちづくりを進めていくために、今後10年間で達成しておくべきことを示します。(抜粋)

ひと

- ・まちの未来をつくるために必要な「ひと」と自覚し、自信と誇りを持っている
- ・それぞれの選択を理解し、認め、支援し合い、生活の安全安心を自分たちで築いている
- ・地域活動(縦軸)と市民活動(横軸)が連携し、安全安心と助け合いの仕組みをつくり「まち」を包んでいる

まち

- ・結婚・妊娠・出産・育児・就学前家庭教育や学校教育までの各段階・分野で、親は安心して子育てができ、子どもは伸び伸びと成長できる
- ・「学ぶ楽しさ」「知るよろこび」「実践する面白さ」が実感できる多様な「学びの場」と「教育の機会」が社会全体で支えられている
- ・地域資源が「まち」の中を回り付加価値が生まれ、「ものづくり・しごと」と「商い」が生まれている。さらに、近隣自治体を巻き込んだ大きな循環も生まれている
- ・「里山まにわ」にふさわしい統一感と地域ごとに個性のある景観が市民主体で大切に慈しみ育てられ、次世代に継承されている

市役所

- ・行政情報を積極的に開示し、「まち」の将来を市民と一緒に考え、市民が主役の真庭市の経営ができる関係(参画と協働)を作る
- ・持続可能な財政基盤の確立のため、市民や社会の要請に対応した施策と事業の選択、成熟した「まち」に適した質の高い行政経営を進める

基本計画

基本計画を12の項目で表しそれぞれの現状と課題を把握しながら事業を進めます「ひと」「まち」「市役所」の役割について計画ごとに明記しています

真庭市民の誇りと責任

- だれもが尊重され存在を認め合う
- 「市の主権者」「地域の人」として意識し行動する

ライフスタイルを実現する可能性の進化

- 一人ひとりの可能性を広げる(子育て・教育)
- 安心な生活を地域で支え合う(健康・福祉)

第2次真庭市総合計画の内容をまとめたパンフレット(ダイジェスト版)を5月に各戸に配布する予定です。詳しくは、そちらをご覧ください。

☎ 総合政策課 TEL7-42-1169